

宇城・氷川スマートインター建設について

問 宇城市の振興に欠かせない重要課題である宇城・氷川スマートインター誘致建設促進状況について問う。

市長 熊本県も19年度内に県内サービスエリア、パーキングエリアについて可能性を探る「社会実験調査」を実施しており、調査結果を待つて熊本県の指導を受け対応したい。今後の展望として、これまで国・県がモデルとして進めたスマートインターを視察研修し、関係接続道路問題などきめ細かな問題を詰めてきた。国土交通省は、ETC専用簡易型インター大幅増設を発表、アクセス道路整備に補助金を優先的に配分、自治体に対しインターチェンジ設計への技術的助言支援をする」と発表した。市としては、既に関係機関と協議を重ね、アクセス道路等について協議している。県の指導を受け、建設促進期成会を軸に、本年3月には認可申請が出せると考える。

施設白書最終報告について

問 平成19年施設白書最終報告による222施設、38億円の今後の取り組みについて尋ねる。

市長 施設白書は、厳しい財政状況の中で、施設の管理維持費が38億円、しかも、経常的一般財源の支出であり、市民と共に市政に参画してもらうための基礎資料としてまとめたものである。現在、数値目標等について具体化はしていないが、基本的な考えとしては、施設の地域性、利用状況、維持管理費、耐用年数等を調べ、施設の統廃合を含め再編計画を考えている。また、管理運営については、民営化、指定管理者制度、民間委託等により、少なくとも38億円の15%から20%削減を期待している。今年度を行政改革元年と位置付け、本庁方式を本格的に進め、統廃合を含め利便性の向上に努める。さらに、

る。なお、平成22年には開通見込みである。

国道3号四車線化整備事業の促進について

問 市長は、国土交通省に豊福校区の要望について働きかけ、あるいは陳情をされたと聞いているが、国道3号の四車線化の整備と促進についてお尋ねしたい。

市長 国道3号の四車線化に向けて、国土交通省、同九州整備局、熊本河川国道事務所、地元選出国会議員に要望活動をしてきたところである。幸いにも、本年度から本期成会の会長ということになり、今まで以上に強力に事業推進に取り組みたい。豊福校区連絡協議会要望の対応は、本年10月に、熊本河川国道事務所から松橋町豊福地域における渋滞の緩和解消に向けて事業を進めたいので、測量、設計を実施する協議があり、11月に地元説明会を実施し、現在、現地の測量を実施しているとある。箇所は、熊本南病院入口交差点から、南側延長880mである。

今一番ハードな事業を進めているのが下水道事業であるが、企業会計になっていない。独立採算が望ましいと思うので、これも独立採算制として市民への透明性を図りたいと考えている。また、施設の統廃合についても、宇城市の風格を考えるべきだ。



222施設の一つ
宇城市農業者トレーニングセンター

雇用対策としての食品加工工場の誘致について

問 経済産業省の時限立法として、食品加工工場への優遇策が次期国会に提案されるが、事前に情報を収集し、積極的に誘致に動いてもらいたいが。

企画部長 税制優遇措置として、5年から10年程度の時限立法で進められるが、執行部として前向きに検討したい。

J R三角線について

問 港の活用及びJ Rの利用促進に、どのような組織をつくり、どのような協議、検討をし、具体化しようとしているのか伺いたい。

経済部長 九州新幹線の開通等社会情勢の変化に対応できるよう、協議会の組織について、宇城市だけではなく、天草地域、宇土市を含めた広域的な組織づくりが必要で、さらにJ R三角線利用促進を進め、通勤、通学や買い物等の生活路線としての重要な交通手段であるJ R三角線を廃止路線の対象にならないよう努力したい。

問 三角駅と西港を結ぶ観光、交通アクセスの整備についてお聞きしたい。

企画部長 西港に栈橋を設置し、西港と東港を海路で結び、観光客の滞留時間を延長することで、東港の経済面を発展させ、栈橋などのハード面は熊本県が事業主体で、ソフト面は宇城市が担い、平成25年を最終年度として計画中である。

防災対策について

問 7月の台風、大雨による災害復旧について問う。

今新地方面へ900mの測量設計を実施中で、地元説明会を既に実施し、来年度からこの区間の用地買収に取り組む。

松橋小学校増築計画の推進状況について

問 松橋小学校の設計の概要、20年度建設に向かつての補助金申請の取組みについて問う。

教育部長 鉄筋コンクリート2階建て、各階に2教室と多目的スペースを備えた校舎、建築面積は約650㎡を予定している。文部科学省の補助金の申請は、当該年度の5月である。県施設課と十分連絡を密にし、申請事務に遺漏がないように努めたい。

地域活性化について

問 三角コミュニティ棟建設を変更するための予算が執行された結果はどうか。

教育部長 三角センター耐震調査結果は、2階の下回り補強が必要。基礎は鉄筋腐食コンクリート剥離等の異状無し。

問 三角センターは、どのような目的で建てられたのか。

総務部次長 昭和47年ボーリング場として建設され、昭和53年三角町民センターとして改修された。

問 三角センター大規模改修及び生涯学習拠点施設整備事業計画策定に至った経緯は。

市長 使えるものは使い、新設でなく改修により経費を節減し、その財源で三角地域の振興事業を進める。

問 当初は合併特例債を5千万円としていたが、変更計画は1億2500万円としている。借金を増やし振興基金とすることが財政運営上経費削減となるのか。さらに、合併協議会、特別委員会及び19年度当初予算において全会一致で承認された計画を変更されようとする理由は。

市長 合併前と今では、宇城市の事情、三角の事情が変わってきた。合併協議会で決定しているから、造らねばならないというものではないと思っている。

問 財政状況が変わったとしても、市民と約束したことを



通勤・通学に利用されているJ R三角線三角駅